

観光資源の主観的評価票LVIの開発における 行政の観光資源評価項目の調査分析

とりの
鳥尾
で
出嶋

かつじ
克二
やすし
靖志

元杏林大学教授

杏林大学保健学部教授

Evaluation of tourism is usually done by the economic effect based on the number of tourists and their consumption amount. On the other hand, tourism evaluation depends on the subjectivity of individual tourists. This study is the analysis of the results of the survey carried out in developing LVI (Land Value Index). The survey was conducted for prefectures in 2011 under the purpose to catch their conscious of tourism resources.

キーワード：観光資源、主観評価、THI、LVI、調査

Keyword : tourism resources, subjective evaluation, THI, LVI, survey

はじめに

観光の評価は、通常、観光地における入込旅客数、および入込客が消費した財やサービスの消費額に置き換えられ、経済的、数値的に定量評価されることが一般的である。一方、観光の評価は、これらの数値的側面からの評価指標のみならず、観光消費者サイドの主観に立脚した魅力や価値の側面から評価することも考察されるべきである。観光消費を誘発する観光資源は物理的、歴史文化的、心理的、時間的に多岐に亘り多様性や変化に富む。また、これらの資源に対する消費者の評価は、個々の主観に立脚することから、資源評価の多様性をさまざまな尺度で捉える多次元評価の視点の導入も必要と考えられる。本論共同執筆者は、如上の観点から、観光資源や観光付加価値（魅力）の評価に際しては、主観評価の客観指標化を必要とすることを指摘するとともに、その有効手段として、THI (Total Health Index・旧東大式自記健康調査票) を応用したLVI (Land Value Index) の開発を提唱し、研究を進めてきた。研究は2010年以降、現在も継続中である。⁽¹⁾ 研究の第一ステップとして、2011年秋に都道府県観光担当部門の政策担当者が主観的に意識する観光資源イメージのアン

ケート調査を実施した。目的は、LVI開発のための研究の一環としての調査であり、その起点として「何が観光資源として意識されているか」を行政フィールドを対象として検証・把握することである。本論は、当該調査によって得られた、行政担当者が主観的に捉える観光資源概念の調査分析である。以下、第1章では調査の背景および趣旨、第2章では調査の設計および内容、第3章では調査結果と分析を示す。

第1章 調査の背景および趣旨

1-1 THI

THIとは、自分の健康についての主観を点数化し、健康状態を把握するための質問紙である。1974年に青木・鈴木・柳井によって東大式自記健康調査票 THI (the Todai Health Index) として開発されたが、現在は開発者らによって、Total (多面的) Health Index と改称され、質問紙「健康チェック票 THI」およびその処理ソフト「THIプラス」として、NPO 法人国際エコヘルズ研究会より提供されている。

調査票には、健康状態を12の尺度（1 多愁訴、2 呼吸器、3 目と皮膚、4 口腔と肛門、5 消化器、6 直腸径行性、7 虚

構性、8 情緒不安定、9 抑鬱性、10 攻撃性、11 神経質、12 生活不規則性）に分けて、各10問弱、合計130項目の質問が設定されている。例えば、「甘いものが好きですか…… はい どちらでもない いいえ」といった質問である。130項目の回答は、「はい」を3点、「どちらでもない」を2点、「いいえ」を1点として点数化される。さらに、これらの点数から統計学的な判別を行って、5つの二次尺度（13体のストレス、14心のストレス、15統合失調症、16総合尺度1、17総合尺度2）が計算され、合計17の健康尺度が使える。最近では1999年東京杉並病の原因究明、同年嘉手納空港周辺住民の騒音影響、2003年成田空港周辺航空機騒音健康影響調査、2015年同第二次調査他に活用されている。THIは多次元尺度の質問票方式を採用することによって主観評価を指標化し、目的に沿って一定の健康評価判断材料を提供している。観光資源が主観に与える観光付加価値の評価判断に於いても有効な手段として応用し得ると考えられる。

1-2 LVI の概念

LVIは Land Value Index の略である。Land (以降ランドと呼称) は旅行業界に

においてマーケティングあるいは商品企画、旅行催行に際し日常的に使用される概念である。ランドは通常、旅行商品の造成に部品として組み込まれ、地上手配される交通手段や宿泊施設あるいは供食事業等の旅行素材を意味する。本論では旅行業界概念を一般化・理論化し、観光資源およびその付加価値（観光魅力）を示す広義の抽象概念として使用している。ランド価値は観光資源の産業的付加価値（観光財）を意味し、基本的に体験財、使用財の性格を示す。また、ランド概念は本来、旅行業界において、主に旅行商品の顕在的・潜在的な構成素材（パーツ）として使用されるが、同時に、観光価値の判断概念としても重要であり、産官学の共通言語として扱われることによって各界の境界的な知見接続に有効である。ランド概念は観光資源や観光地の魅力評価、あるいは観光消費者の満足評価に際し重要な意味を持っている。観光資源の付加価値（=Land Value）の本質は、美しい風景や上質な人的サービスの評価等、個々の消費者にその場で個人的に魅力や満足をもたらす主観的な体験価値である。共同執筆者は、主観に現れるこれら付加価値を客観的に評価するための新たな指標としてLVIの開発を提唱し、THIを応用した観光付加価値の客観的判定手法の研究・開発を目指している。

1-3 調査の趣旨

観光財としてのランドの付加価値評価は主観が捉える様々な要素の体験消費、満足評価の側面を持つことから、一義的、定量的な測定が困難である。本研究は、主観（観光消費者）が捉える観光評価を多次元尺度により指標化することによって、観光価値の客観的判定手法を研究開発していくことを最終目的としている。そのため、まず、研究の基礎的データを把握するため、以下の調査を実施した。調査内容は、①都道府県観光関連部門が意識する観光資源の基本項目の確認、②観光資源項目の部門自己評価の把握の2点である。調査にあたり、都道府県観光

関連部門に調査趣旨（THIを応用したLVIの研究開発）を説明するとともにアンケート調査票を送付し、当該部門に所属する担当者の主観による回答を依頼した。

第2章 調査の設計および内容

2-1 調査の設計

LVIの設計にあたっては、主観が捉える観光付加価値の客観的評価判定に必要な多次元評価尺度の項目を設定し、これらの各尺度の指標化を導き出す適切な質問票を作成する必要がある。その前提として、表1のとおり、THIを基にしたLVIを設計し、主観の調査項目（多次元評価尺度の項目）を整理した。

調査では尺度の項目として、下表1のとおりTHIの設計を応用し、観光資源とみなされる要素を大きく環境属性および心理属性に2区分している。そのうえで、観光資源評価の判断尺度として、環境属性7項目（自然、都市、歴史、文化、産業、施設、人的）、心理属性5項目（探訪性、開放性、交流性、支援性、満足性）の計12項目に分類し設計した。調査の主

目的は、LVI開発の第1ステップとして実施する「行政が意識する観光資源イメージ把握」である。そのため、調査第一弾として、調査票は環境属性7項目を中心に設計し、8票181質問にまとめた。第1票は環境属性7項目全体について回答を求め、第2票～8票は環境属性7項目の個々の項目について質問している。各質問に対する回答は、回答者の主観による回答を求めた。心理属性5項目に関しては、本件調査時には設問を設けていない。

2-2 調査項目の内容

質問の対象となる環境属性の各項目については、表2のとおり仮分類するとともに、各項目の参考概念および内容を示し、回答者の判断の一助に供することとした。

2-3 質問の内容

本件調査では、7項目に分類した観光資源項目の全体についての調査（調査票1）、および観光資源各項目についての個別の調査票（調査票2～8）、を用意し計

表1 THIを基にしたLVIの設計

	THI 主観に基づく健康状態の判定		LVI 主観に基づくLANDの判定	
	基本属性	0. 身長体重等	基本属性	0. 都道府県(国家)
主観の調査項目	身体	1. 多愁訴	環境	1. 自然
		2. 呼吸器		2. 都市
		3. 目と皮膚		3. 歴史
		4. 口腔と肛門(口とおしり)		4. 文化
		5. 消化器		5. 産業
	心理	6. 直情径行性(いらいら短気)		6. 施設
		7. 虚構性(社会的望ましさ)		7. 人的
		8. 情緒不安定・対人過敏	8. 探訪性	
		9. 抑鬱性(抑鬱度)	9. 開放性	
		10. 攻撃性(積極性)	10. 交流性	
		11. 神経質	11. 支援性	
		12. 生活不規則性	12. 満足性	
客観的判定	身体	13. 体のストレス度(心身症)	資源	13. 環境の質(公共インフラ完成度)
	心理	14. 心のストレス度(神経症)	素材	14. 観光財・サービスの質(産業インフラ完成度)
		15. 統合失調症	価値	15. 総合尺度(資源LAND)
	健康	16. 総合尺度(身体)		16. 総合尺度(素材LAND)
			17. 総合尺度(心理・行動)	

THIをもとに設計
国際エコヘルス研究会資料より作成

表2 環境属性項目一覧（心理属性項目一覧は参考として注記2に示す）⁽²⁾

属性項目	内容
自然資源	地形、気候、風土、生態系（山岳、河川、湖沼、海浜、滝、国公立公園、世界自然遺産、天然記念物、動植物魚類等）の自然環境価値およびその景観価値
都市資源	大都市、市町村等の行政単位の社会資本環境価値（道路、市街、公園等公的施設設備、交通システム等公共財・サービス・機能・制度（財政、治安等）の活動およびその景観価値
歴史資源	古代～現代にいたる地域の成り立ち、できごと、人物、物語等の史的環境価値
文化資源	1) 生活文化（街並み、商店街、衣食住、伝統、方言、しきたり、仕事、行事、祭事等日常生活価値、2) 国宝、公的有形無形文化財、世界文化遺産、名所旧跡、寺社仏閣、特定風致地区、遺跡・遺構等、3) 温泉、農林漁山村の地域生活環境価値および景観価値
産業資源	地域を代表または特徴づける産業形態（製造業、農林水産業、サービス業）の諸活動とその財・サービス価値（製品一般、特産品、工芸品、技能技術、ノウハウ、ブランド等）
施設資源	博物館、美術館、文化会館、コンサートホール、スタジアム、動植物園、水族館、モニュメント等公共施設、テーマパーク、リゾート、ゴルフ場等特定民間施設の使用価値
人的資源	住民のホスピタリティマインド、もてなしマインド、観光理解、支援意識、理念、信条、人情

8調査票、181問の質問を設けた。また、各質問に対し、回答者の主観評価を5段階評価（①思う、②概ねそう思う、③どちらでもない、④あまり思わない、⑤思わない）に分けて回答を依頼した。第1～第8の調査票において実施した全質問の詳細は注記3にまとめて記載する。⁽³⁾ 質問設計に際しては、LVIの最終目的となる適切な質問票の研究開発に繋げるとともに、回答者の主観を引き出すため問いの表現に工夫を加えている。

第3章 調査結果

2011年夏、都道府県観光関連部門に調査票を送付し、アンケートへの回答を依頼した。依頼にあたり、調査趣旨およびLVI概念の説明を加え、調査目的を説明した。また、回答方法に際しては、担当者の主観に基づく自由判断を依頼している。28都道府県から回答を得られた。回答は、各質問票の個々の質問に対し、もれなく丁寧になされていた。以下、調査票1（自然資源、都市資源、歴史資源、文化資源、産業資源、施設資源、人的資源7項目に対する全体質問票）および調査票2～8（各観光資源に対する個別詳細質問票）の集計分析結果を示す。

3-1 調査票1（観光資源7項目の全体質問）に関する分析（表3）

調査票1では、分類観光資源7項目の個々の項目について1) 重要視するか、2) 認知されていると考えるか、3) 他府県との比較優位があるかと考えるかについて、都道府県観光担当部門の主観評価を第2章2-3の5段階評価に分けて回答を依頼した。

1・自然資源を重要視する回答①が突出して高い。回答②を加えると肯定的回答が27県97%に達する。自然は観光資源の根源的要素と見做されている。文化資源、歴史資源を重要視する回答①がこれに次ぐ。回答②を加えると肯定的回答がそれぞれ97%、93%を示す。文化、歴史は地域を彩る基本的な重要観光資源要素と見做さ

れている。

- 2・人的資源を重要視する回答①が文化、歴史と同水準を示す。回答②を加えると肯定的評価は85%に達する。回答⑤はゼロである。人的資源は地域の文化、歴史を紡ぎ、且つ支える基本的観光資源の重要要素のひとつと見做されていると思われる。
- 3・産業資源、施設資源を重要視する回答①と回答②がそれぞれ40%前後で拮抗する。調査票6（産業資源）および、調査票7（施設資源）の詳細質問に対する回答を加味すると、地域の特性を生かした顕著な産業形態や特定の知名施設を除き、自県の産業、施設を全国的にみて標準的・相対的水準と見做し、評価を下方シフトする傾向があるものと思われる。全体として①②の肯定的回答合計は80%前後の水準に達する。産業、施設は地域の付加的な基本観光資源要素と見做されていると思われる。
- 4・都市資源を重要視する回答は①～④がそれぞれ25%前後で大略拮抗する。調査票3の詳細質問に対する回答を加味すると、回答は国際的大都市、地域代表都市、伝統都市としての自己認識に立脚区分された上でなされており、その評価は①～④に分散して相対評価にシフトする傾向がみられる。ただし、この回答のうち③～⑤の合計が57%であることは回答県固有の観光魅力評価の低下を意味しない。質問票2～8の各資源項目に対する回答詳細からみて、都市

表3 調査票-1への選択肢別回答割合（%）

資源	重要視する 思う～思わない					認知されている 思う～思わない					他県との比較優位ある 思う～思わない					各計
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	
自然	86	11	4	0	0	46	29	18	7	0	64	18	14	0	4	100
都市	25	18	29	21	7	11	18	29	32	10	11	18	32	32	7	100
歴史	64	29	7	0	0	36	25	39	0	0	36	36	28	0	0	100
文化	68	29	3	0	0	25	39	36	0	0	36	39	25	0	0	100
産業	39	43	18	0	0	11	32	50	7	0	14	25	57	4	0	100
施設	32	43	18	7	0	21	25	32	18	4	18	14	50	18	0	100
人的	64	21	15	0	0	11	18	61	10	0	14	18	57	11	0	100

資源は他の資源6項目とのバランス重視や、単独評価の逡巡がみられる。本研究では、都市資源は諸資源が融合する地域観光の発信源、拠点であり、観光の集約資源と考える。他方、回答では都市そのものを観光資源と位置づける視点へのゆらぎが見て取れる。

- 5・認知、比較優位に関しては、重要視に比し回答が大きく分散し、自然を除く他の資源6項目の回答③の構成比が著増する。都市資源、施設資源では回答④がそれぞれ32%、18%を占め突出する。両資源の評価は他都市との比較において、都市インフラや諸機能の集積規模・施設設備の水準を相対的に下方評価にシフトさせる傾向があることによると思われる。
- 6・認知、比較優位の歴史、文化両資源に関しては、回答③が著増するが、④⑤はゼロである。地域の独自性の価値認識によるものと思われる。産業、施設、人的各資源の比較優位に関し回答④でのマイナス傾向が現れる。
- 7・これら分散傾向を総括的にみると、自然を除く資源6項目は対内的、潜在的に重要視される傍ら、観光資源かつその付加価値として、より一層有効活用するための積極的な環境整備・政策的対処・対外情報発信等への取り組み不十分等、意識のゆらぎや評価の内籠り傾向があるものと想定される。産業、施設、とりわけ人的資源についてはこの傾向が特に強く出ていると思われる。自然に関してのみは肯定的回答比が認知85%、優位82%を示し、重要視とともに明快な評価が現れる。
- 8・調査票1は資源7項目の詳細質問に至る導入部分として設計し、重要視、認知、比較優位についてのみの回答を求めた。仮分類した観光資源7項目について、地域行政部門が極めて重要視していることが認められた。

仮分類は観光資源の実践的概念、対象、区分の研究判断にほぼ妥当すると考えられ、LVIの今後の研究や消費者向けの最終質問票設計に際し、「何が観光資源か、どのように認識されているか」について、基礎的知見が得られたものとする。

3-2 調査票2～8に関する分析

調査票2～8については、調査票ごとの各質問への回答のうち、回答①②の合計が大きい上位5問を回答者の主観が強く表れる傾向とみなして重視し、分析に際しては、これら上位5問を核としつつ他の質問への回答を考慮して総合的判断を加えた。

3-3 調査票2：自然資源項目に関する分析（表4）

Q22301等の表示は、質問各項に付した分析作業用の整理番号である（以下の調査票も同様、回答計は28）。

- 1・自然資源に対する高い重要視が回答に共通する。Q22401では回答③④⑤はそれぞれ一県にすぎない。各県ほぼ共通して観光資源イメージの根源を自然と見做していることが明確に現れている。自然は他資源に先立ち、観光資源の根本的要素と見做されている。
- 2・自然資源の付加価値はQ22301の景観評価に強く現れ、回答⑤はゼロである。また、国公立公園を有する県は、自らの景観価値表現の場として当該

公園が代表すると考えていると思われる。

- 3・上記重要視、付加価値に関連して「総合的にみて貴県の自然資源の観光価値は全国トップ水準とお考えですか」との問いに対する回答①②が計82%に及ぶ。県土観光の自然資源面での優秀性評価意識が広範かつ強く現れている。
- 4・自然資源の付加価値を生かし得る側面として、感性的評価面（感動や癒し）を問う Q21701、Q21801では回答①②の肯定的回答率がともに93%に達する。また、付加価値活用の形態を DO 型、観賞型、健康・リフレッシュ型、お参り型に区分し質問したところ Q21201の健康・リフレッシュ型への肯定が89%を示した。自然観光資源の健康科学面での有効活用の研究強化が今後従来以上に必要と思われる。DO 型、観賞型の肯定的回答は64%で拮抗した。おまいり型への肯定的回答は29%であった。
- 5・表4以外に自然資源の観光価値開発余地の潜在性意識について実施した質問では、余地が少ないとの回答は①がゼロ、②が29%、③および④⑤計がそれぞれ36%である。一方、自然資源保護の必要性に関する質問では回答①②で97%、④⑤はゼロである。自然資源を保護しつつ、その潜在的な観光付加価値（ランド価値）をさらに生かしていくことの必要性が強く意識されていると思われる。

表4 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示。

調査票2	質問	回答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q22301	総合的にみて貴県の自然資源の保護を推進していく必要があるとお考えですか	16	11	1	0	0	27
Q21701	貴県の自然は訪問者に感動を与える力があるとお考えですか	16	10	2	0	0	26
Q21801	貴県の自然は訪問者に癒しを与える力があるとお考えですか	15	11	2	0	0	26
Q22401	総合的にみて貴県の観光イメージは自然価値を柱としていますか	14	11	1	1	1	25
Q21201	貴県の自然は活力や元気を与える健康型、リフレッシュ型とお考えですか	11	13	4	0	0	24

3-4 調査票3：都市資源項目に関する分析（表5）

- 1・調査票では観光価値の源泉としての地域の中核的都市存在を、1) 国を代表する国際都市・観光拠点都市、2) 地域を代表する地方都市・観光拠点都市に区分した。区分は、双方それぞれの行政、産業経済、サービス等、諸機能の集積規模の形態と状態を含意し、その形態と状態がもたらす観光資源としての付加価値拠点（ランド価値）を含意している。
- 2・上記表5以外の質問も含めた調査票3全体の傾向として、前項1) に対し回答①を選択する県は5県、回答②の選択は2県計25%である。同様に、2) に対しては回答①は6県、回答②は7県計46%である。地域を代表する地方都市について、観光拠点としての肯定的意識は、国レベルの肯定よりも各地域レベルの肯定を選択評価する（内向きの）比較傾向が強いことが伺える。
- 3・都市の沿革やそのアイデンティティを守る必要性を問う Q30401 に対しては、回答①②が71%に増大し、そのうち75%が回答①を選択している。更に、表5には載せていないが、「現代的建築・施設建造物や諸機能と歴史的建築物や遺構が調和する伝統都市・観光拠点都市」であるかの意識を問う質問に対しては、回答①②が54%を示した。これらの結果から、城下町等、近世前後に由来する都市の沿革を重要視、資源視する傾向が伺える。
- 4・市街の賑わい、インフラや公共サービスの使い勝手、街の雰囲気や居心地、生活文化消費等の感性価値評価の質問群に関しては、Q30803、Q30802のとおり食に対する肯定的評価①②の構成比が突出した。食文化以外の項目についての肯定的評価は総じて回答②を中心に行われ、回答③④⑤が過半を占める傾向が出ている。

5・都市は地域に根差した沿革を持つ。現代においては近代建築や必要都市インフラが高度集中し、集積規模に比例して外形的な景観を備えていく傍ら、発展に反比例して歴史的沿革や遺産は埋没していく。本研究では、都市は諸資源が融合する地域観光の発信源、拠点であり、観光価値が多様に集積する場と考える。調査票3全体の特徴として、他の調査票の資源項目に比し回答③④⑤の構成比が突出する傾向が強い。すなわち、都市存在の観光面における資源認識が相対的に弱く、より積極的な評価を試みることに對する逡巡傾向があるものと思われる。調査票1では都市を観光資源として重視しない回答が29%を示す、一方、調査票3では上記3のとおりアイデンティティを都市が装備する観光付加価値として捉え、歴史的・文化的資源の観点から更に生かしていく意識が強くと見て取

れる。視点の持ち方として都市整備と観光付加価値（ランド価値）の両立は、依然、行政にとって継続課題と思われる。

3-5 調査票4：歴史資源項目に関する分析（表6）

- 1・Q40401では歴史を観光資源と見做すとともに、その潜在活用の余地の有無を質問した。回答のうち回答①②の構成比が96%を占める。歴史の資源潜在性を重視する認識の現れと思われる。
- 2・Q40901-Q41201では、固有の歴史資源が国民に国や地域の学び、理解、教養、人生の指針等をもたらす情報資源として、回答①②が80%以上で肯定的に認識されていることが明確に見て取れる。同時に地域の観光情報資産として整備・発信が強化されるべきと捉えられていると思われる。

表5 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票3	質 問	回 答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q30803	B級グルメ等国民に紹介したい庶民的食文化に恵まれていますか	15	10	2	1	0	25
Q30802	地域を代表する洗練された郷土料理の食文化に出会えますか	14	9	5	0	0	23
Q31301	名産や工芸等特色ある財やサービス、地域ブランドの消費を楽しむことができますか	7	15	5	1	0	22
Q30401	貴県の中核的都市が城郭、城址が存在する旧城下町（門前町、宿場町）である場合、観光資源としてそのアイデンティティを大切に守るべきとお考えですか	15	5	3	1	4	20
Q30804	訪問者の任意の選択に応えられる幅広い食文化やメニューが発達していますか	6	13	7	2	0	19

表6 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票4	質 問	回 答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q40401	貴県の歴史は観光資源として潜在活用の余地が十分にあるとお考えですか	9	18	1	0	0	27
Q40901	貴県の歴史は国民に対し、更に広く知られるよう努力すべきとお考えですか	14	13	1	0	0	27
Q41001	貴県の歴史は国民の学びや一般教養を高め、人生の指針や知る楽しみの面で国民生活に役立つとお考えですか	10	14	4	0	0	24
Q41301	貴県の歴史は訪問者が国や地域をより良く理解するのを手伝う発信力があるとお考えですか	11	13	4	0	0	24
Q41201	貴県の歴史は訪問者に大きな感動や気付き、教養を与える力があるとお考えですか	12	10	6	0	0	22

- 3・一方、上記表6以外の質問「記録・資料の分析や展示が、施設や広報等をおして解りやすく適切に解説され、地域歴史の全体把握に役立つ実践的工夫や表現がなされているか」に対する回答①は14%②は39%計53%に低下する。歴史を地域理解の基本的要素と見做すが、その価値の観光資源活用の実践に際し、徹底を欠くとの認識があるものと思われる。
- 4・以上を踏まえると、歴史資源は物的遺産に加え、記録等情報が体系化されるとともに、観光消費者の理解しやすい方法や形態で提供される要ありと思われる。

3-6 調査票5：文化資源項目に関する分析（表7）

- 1・調査では文化資源の価値を1）生活文化、2）有形無形文化財等、3）温泉、農林漁山村の地域の3形態に区分した。形態1）、形態3）は通常的生活環境下に見出される生活様式の形態と価値を含意している。回答①②合計が大きい上位5問は形態1）に多い。
- 2・形態1）に関連する質問ではQ50201のとおりに祭事、行事、しきたり、芸能の有無に関する回答①②が計96%と突出し、同時にQ50202のとおりに地域の文化資源として観光振興に特別な貢献を果たしているとの肯定的認識が89%に達する。また両質問の①

回答選択は57%超でありそれぞれ明確な肯定認識が現れる。表7以外の形態1）に関連する質問では「地域の生活文化の特徴が風土、歴史、伝統に由来するか」との問いに、75%が①②を回答した。これら由来のベースが形成されたと考える時期の関連質問では、江戸期前、江戸期、江戸期以降の回答③④の計がそれぞれ70%程度を示し分散している。生活文化の由来が江戸期を軸に通時的に広がり、現代に続いているとの認識が見て取れる。現代の住民生活に残る地域生活文化の影響についての回答①②の計は、衣14%、食61%、住14%、価値観等54%、現代生活に埋没・特段の特徴なし32%である。このように、形態1）に関連する質問からは、地域行政の祭事、行事、芸能、食文化の重視傾向が見て取れる。

- 3・形態2）の関連質問ではQ50301のとおりに有形文化財が国際的レベルでの観光価値を肯定する回答①②の計が82%に達した。文化財の質への安定した評価を示すと思われる。また、表7には示していないが、公的有形無形文化財について「参観等、見る文化財としての価値」および、「意味する文化財としての地域価値」との結びつきを質問したところ、いずれの価値においても回答①②の計が75%程度で拮抗した。文化財は景観や鑑賞等外形的価値に加え、城下町、

門前町、宿場町等地域の歴史的沿革やアイデンティティとの意味と価値の調和や相関が重視されていることが伺える。

- 4・形態3）に関連する質問では、表7には示していないが、温泉資源を重視する回答①②計が79%、③が18%であった。回答県の温泉資源分布は均等ではなく、かつ多様な泉質や施設の変化が見られるが、温泉に対する資源認識の強さが伺える。調査では温泉資源を文化価値と位置づけ「湯治文化を保健の観点から捉え、国民により広く発信すべきか」を質問したところ回答①②の計は50%に達した。観光は環境、健康、保健との親和性が高いとの認識に基づき、特に温泉資源について観光価値のみならず、環境、保健の観点からの研究も有意義と考える。「農林水産、山間地域等の一次産業を主たる産業文化とする地域を重視するか」の質問に対し、回答①②計が同じく79%に及んだ。温泉地に比し、顕在観光資源としての認知は相対的に弱いと思われるが、回答県の多くが潜在資源視していることが伺える。

3-7 調査票6：産業資源項目に関する分析（表8）

- 1・表8以外に、産業分野を製造産業、一次産業に区分し、「その分野で国を代表するか」との質問に対し、回答①②計が製造産業64%、一次産業75%を示した。2質問に対し①①、①②、②②のように肯定的に回答した県は57%に達し、④⑤を回答した県は11%であった。過半の県で高度な製造業と一次産業の同居意識が存在する。
- 2・また、表8以外の質問で、地域産業を観光資源と見做し、近現代的製造産業、伝統的製造産業の見学開示について質問したところ、近現代的の68%、伝統的の82%が①②を回答した。他方、「生産経済は消費経済に比

表7 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票5	質問	回答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q50201	全国的に知られ、現在に伝承される祭事、行事、しきたり、芸能等がありますか	16	11	1	0	0	27
Q50202	全国的に知られ、現在に伝承される祭事・行事・しきたり・芸能等は貴県観光振興に特別な貢献をしているとお考えですか	18	7	3	0	0	25
Q51101	貴県の文化資源は訪問者に対し大きな感動や、気付き、教養を与える力があるとお考えですか	9	16	3	0	0	25
Q51201	貴県の文化資源は世界に対し日本文化を適切に発信する力があるとお考えですか	10	15	2	1	0	25
Q50301	貴県の国宝・文化財・名所旧跡・寺社仏閣は国際的な価値を有するとお考えですか	16	7	3	1	1	23

表8 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票6	質 問	回 答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q60801	地域の自然環境や風土を生かした特産品（農林水産物）に恵まれていますか	15	11	2	0	0	26
Q60901	地域の歴史・文化環境を生かした特産品（織物、陶芸、漆芸、木工、その他工芸等）や手仕事の技術の伝承に恵まれていますか	11	12	5	0	0	23
Q61101	一般見学、参観が開示されている伝統的製造産業の工場や工房が存在しますか	14	9	5	0	0	23
Q60201	貴県は国を代表する一次産業分野の一つの拠点県とお考えですか	11	10	4	2	1	21
Q61001	一般見学、参観が開示されている近現代的製造産業の工場が存在しますか	14	5	7	1	1	19

し観光活用しにくい」との質問に対し、回答①はゼロ、回答②は7%に過ぎなかった。製造産業、一次産業等の形態に拘らず地域を代表する生産産業活動を観光資源と見做す意識が強いことが伺える。

3・Q60801、Q60901は農林水産面の特産品、伝統技術による工芸品等、地場産業の素材・加工品・製品に代表される産業産品の多様性を示す。回答県のほとんどが地域に根ざした特産品を持ち、観光活用していることが改めて伺える。

4・本研究では、地域産業の日常的諸活動そのものとその財・サービスの形態・価値を観光資源と見做している。調査票1に見られるとおり、産業を観光資源と捉えない回答はゼロである。地域産業の観光資源潜在性は多分野に亘り且つ高いと思われる。

2・Q70101、Q70201、Q70401、Q70301の関連質問として「その施設が県観光振興の必須資源であるか」の質問に対し、回答①②計はQ70101：71%、Q70201：71%、Q70401：82%、Q70301：64%であった。一方同様に「その施設の観光利用者数は満足すべき水準か」の質問に対し、回答①②計は同様のQ順にそれぞれ36%、25%、36%、32%であった。認識と効果の乖離が見られる。

3・上記4問のその他の関連質問として、「県観光振興に特定または広範な波及効果を及ぼしているか」について、それぞれQ順に68%、54%、61%、50%であった。また、「その施設は国際的に高い評価を得ているか」の質問に対し、それぞれQ順に29%、21%、29%、18%を示した。前項と同様に、施設の観光資源効果認識と水準認識の乖離が見られ、施設資源

を観光に生かし切っていない状況が伺える。

4・施設資源は、一部テーマパークや特定文化施設を除き、他資源に比し必ずしも観光資源（ランド資源）としての役割や効果が広範かつ十分に生かされていないものと思われる。研究の進展とともに追加的関連調査を行いたい。

5・Q70601にて環境・観光・健康が連携する施設コンセプトやそのインフラ整備を質問した。回答①②計は89%である。温泉資源同様、観光と施設資源との在り方に示唆があるものと思われる。

3-9 調査票8：人的資源項目に関する分析（表10）

1・調査では人的資源を、地域の文化や歴史を紡ぎ、産業や生活を築く過程で都市や施設を形成していく根源的資源要素の一つと捉える。人的資源の観光付加価値はホスピタリティ・もてなしマインド、観光理解、支援意識、心情、人情、気質等の他、価値観、理念等精神文化を含む。この付加価値は住民の日常生活に現れ、生活文化に表現される。人的資源は総合的重要観光資源と認識される。

2・質問は、1) 住民の流動性、2) 住民のマナー、3) 県民性、4) おもてなしマインド、5) 接客サービス、6) 対外的PR、住民への観光啓蒙

3-8 調査票7：施設資源項目に関する分析（表9）

1・回答①の回答数上位は、公的施設の関連質問Q70101、Q70201に集中し公的施設の装備率は各県ともに極めて高い。一方、施設資源の観光資源としての重要視評価は表3のとおり他の資源項目に及ばない。特に他県との比較優位認識は回答③④が68%を占める。施設投資は住民向け施設として実施され、必ずしも観光資源を強く意識しない投資として扱われるものと思われる。

表9 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票7	質 問	回 答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q70101	貴県には博物館、動植物園、水族館の公的施設のいずれかが存在しますか	23	5	0	0	0	28
Q70201	貴県には美術館、工芸館の公的施設が存在しますか	26	1	1	0	0	27
Q70401	貴県にはリゾート、ゴルフ場、スキー場のいずれかが存在しますか	24	2	2	0	0	26
Q70301	貴県にはスポーツや音楽、演劇に広く供されるスタジアム、コンサートホール、劇場の公的施設のいずれかが存在しますか	21	4	1	2	0	25
Q70601	社会的年齢構成やアウトドア需要が変化する時代に合わせ、ハイキング、トレッキング、サイクリング等の専用道路などの環境・観光・健康が連携する施設コンセプトやインフラ整備が必要とお考えですか	13	12	3	0	0	25

表10 調査票の回答①②の合計が大きい上位5問を表示

調査票 8	質 問	回 答					
		①	②	③	④	⑤	①+②
Q80604	貴県の住民は親切であるとお考えですか	6	17	5	0	0	23
Q80502	駅、市街、施設、商店街など公共空間での安全や秩序は概ね良好とお考えですか	3	19	5	1	0	22
Q80603	貴県の住民は人情があるとお考えですか	6	16	6	0	0	22
Q81201	貴県の小中高校では地域の歴史や伝統、文化、産業を学ぶカリキュラムがありますか	7	13	6	2	0	20
Q80501	駅、市街、施設、商店街など公共空間での住民マナーは概ね良好とお考えですか	3	15	9	1	0	18

広報について大別した。
 3・表10に示していない間も含めた分析では、1) に関しては、回答④⑤が79%を占め、全国レベルでの国民の移動が現れる。2) に関しては回答①②計は64%、回答④は4%、回答⑤はゼロである。住民マナーの質に肯定的回答が多い。3) に関しては、イ) 開放・社会的、ロ) 慎重・謙虚、ハ) 人情あり、ニ) 親切、ホ) 受容の心あり、ヘ) 協調的、にサブ質問を設けた。回答①②計はイ) ~ヘ) の順にそれぞれ、29%、54%、79%、82%、57%、54%である。全体として控えめだが暖かく、人情細やかで親切的な住民像の評価意識が伺える。4) に関しては、回答①②計は43%であるが、回答④⑤はゼロである。総じて住民のウェルカムマインドに控えめながら肯定的な評価が伺える。5) に関しては、イ) 「泊、食、ショッピング等におけるサービス水準は標準以上か」、ロ) 「同、国際水準か」、ハ) 「タクシードライバーの接客水準は標準以上か」にサブ質問を設けた。回答①②計は、イ) 54% : そのうち回答①は1県、ロ) 29% : そのうち回答①は1県、ハ) 14% である。観光客のサービス消費の最前線となる各種業種の接客水準評価が相対的に低く留まる傾向が見取れる。特に、タクシーの評価が低い。6) に関しては、イ) 「学校教育において地域の歴史、文化、産業を学ぶカリキュラムの用意がなされている

か」、ロ) 「対外的観光資料の用意、住民に対する観光理解のための啓蒙活動」についてサブ質問を行った。回答①②計はイ) 71%、ロ) 54%である。教育広報面での各県の努力が伺える。

おわりに

本論はLVI開発のための基礎的データとして「行政において何が観光資源として意識されているか」を探るため、実施した調査結果の紹介である。LVIの最終目標は、主観が捉える観光付加価値を、観光満足の評価指標として、客観判定することを可能とするための適切な質問票の設計である。このため、今回の官を対象とした調査に加えて、産・学の分野においても観光資源に関する意識調査を行い、仮分類した7項目の妥当性について検討していく必要がある。具体的には、調査票1の回答についてSpearmanの相関分析を行なうとともに、調査票2~8の181問の回答については主成分分析を行う。さらに、得られたデータは、心理属性の次段階の設問設計準備等のための基礎的データとして検討する。LVIがモデルとしたTHIの開発には多年を要し、1974年の完成以降も改良が進んでいる。LVI質問票の最終完成には、なお長く地道な研究を要する。今後の展開に関し、杏林大学観光交流文化学科古本泰之准教授の共同研究参加を予定している。

注記

(1) 鳥尾克二・出嶋靖志「観光価値評価に関する考察 (Land value index の提唱)」

日本国際観光学会第13回全国大会発表レジュメ集、2010年、10-11頁

鳥尾克二・出嶋靖志「観光価値評価に関する考察2 (Land value index の開発)」

日本国際観光学会第14回全国大会発表レジュメ集、2011年、60-61頁

鳥尾克二・出嶋靖志「観光価値評価に関する考察3 (Land value index の開発)」

日本国際観光学会第15回全国大会発表レジュメ集、2012年、32-33頁

鳥尾克二・出嶋靖志「観光価値指標の研究4 (LVI : Land value index の開発)」

日本国際観光学会第16回全国大会発表レジュメ集、2012年、50-51頁

(2) 心理属性項目一覧

探訪性	観光消費者に発見、めずらしさ、学び、知識、確認、遭遇、新体験等をもたらす付加価値
開放性	観光消費者にうきうき、楽しい、リフレッシュ、リラックス、心地よさ等をもたらす付加価値
交流性	観光消費者と従業員や住民間に交わされる人的コミュニケーションの成果。観光体験の場(いまとここ)から主観が感受する総合メッセージの成果。(気づき、学び、情緒、意味、価値)
支援性	観光消費者に提供される駐車場、休憩所、標識等関連施設設備の用意や、IT、音声、映像、印刷物、案内組織等を通して提供される情報付加価値および観光関連制度・体制・予算・事業
満足性	観光消費者に体験満足(感動、感心、情緒、良かった等)を与える諸資源の総合的意味と価値

(3) 質問詳細

本文3-3から3-9で扱った上位5問には下線とともに上位からの順位を付した。

調査票1 全体質問

貴県の観光資源7項目についてお尋ね

します。項目毎に重要度と消費者認知度および他県との比較優位についてスケール1-5 (①思う、②概ねそう思う、③どちらでもない、④あまり思わない、⑤思わない) を選んでください。(対象項目は環境属性7項目、心理属性5項目計12項目の12問。例：自然資源を重要視しますか、貴県の自然資源は観光消費者に認知されているとお考えですか、貴県の自然資源は他県との比較優位があるとお考えですか。以下11項目について同様質問)

調査票2 自然資源に関する質問

- 代表的な地形や生態系の景観価値は大きく見て海型(島嶼、海浜)ですか
- 代表的な地形や生態系の景観価値は大きく見て陸型(山岳、河川、湖沼)ですか
- 景観が与える四季折々の変化や美しさの価値が全国有数レベルとお考えですか
- 前項の景観価値は国民に広く周知徹底されているとお考えですか
- 広く知られた天然記念物や全国的にめずらしい特定の生態系が見られますか
- 貴県は風土(降雪、避暑、避寒、水遊び等)を積極的に観光活用していますか
- 国立公園が貴県の自然資源の代表ですか(PRイメージ使用等)
- 公立公園が貴県の自然資源の代表ですか(PRイメージ使用等)
- 世界自然遺産が貴県の自然資源の代表ですか(PRイメージ使用等)
- 貴県の自然はスポーツ、歩き、泳ぎ、収穫等活動を楽しむDO型とお考えですか
- 貴県の自然は見て楽しむ観賞型とお考えですか
- 貴県の自然は活力や元気を与える健康型、リフレッシュ型とお考えですか
- 貴県の自然は山岳信仰等人生に意味

を与えるお参り型とお考えですか

- 貴県の自然への各交通アクセス利便は十分確保されているとお考えですか
- 貴県の観光対象となる自然に関し、解り易く使いやすい情報が提供されていますか
- 自然の観光消費に際し、休憩所や案内所等の施設や支援体制が整備されていますか
- 2位：貴県の自然は訪問者に感動を与える力があるとお考えですか
- 3位：貴県の自然は訪問者に癒しを与える力があるとお考えですか
- 5位：貴県の自然は訪問者に明日への活力を与える力があるとお考えですか
- 貴県の自然は訪問者に対し日本の美発見に應える力があるとお考えですか
- 総合的にみて貴県の自然資源の観光価値は全国トップ水準とお考えですか
- 総合的にみて貴県の自然資源の観光価値は開発余地が少ないとお考えですか
- 1位：総合的にみて貴県の自然資源の保護を推進していく必要があるとお考えですか
- 4位：総合的にみて貴県の観光イメージは自然価値を柱としていますか

調査票3 都市資源に関する質問

- 貴県の中核的都市は先端的建築・施設建造物や諸機能が高度に集積し、国を代表する国際都市、観光拠点都市であるとお考えですか(関連質問：街路、建築、夜景等、都市の外形的景観そのものが重要な観光資源とお考えですか)
- 貴県の中核的都市は現代的建築・施設建造物や諸機能が高度に集積し、地域を代表する地方都市、観光拠点都市であるとお考えですか(関連質問：街路、建築、夜景等、都市の外

形的景観そのものが重要な観光資源とお考えですか)

- 貴県の中核的都市は現代的建築・施設建造物や諸機能と歴史的建築物や遺構が調和し、国や地域を代表する伝統都市、観光拠点都市であるとお考えですか(関連質問：街路、建築、夜景等、都市の外形的景観そのものが重要な観光資源とお考えですか)
- 4位：貴県の中核的都市が城郭、城址が存在する旧城下町(門前町、宿場町)である場合、観光資源としてそのアイデンティティを大切に守るべきとお考えですか(関連質問：旧城下町の町割りを見える形で残されていますか)
- 訪問者からみて交通システム、公共施設機能など貴県の都市の使い勝手は良好とお考えですか
- 施設インフラの機能・利便性や、建築のデザイン等を楽しむことができますか
- 市街、街角のたたずまい、雰囲気、居心地は良好とお考えですか
- 食文化の水準が高く、ミシュラン級の多様な選択肢に恵まれていますか(関連質問：2位：地域を代表する洗練された郷土料理の食文化に出会えますか)
- 1位：B級グルメ等国民に紹介したい庶民的食文化に恵まれていますか
- 5位：訪問者の任意の選択に答えられる幅広い食文化やメニューが発達していますか
- 地域性に富むイベントや店舗、人が集まる地元の人気スポットに出会えますか
- 国際性豊かなイベントや店舗、人が集まる全国の人気スポットに出会えますか
- 時代の先端を行く財やブランド、サービスの消費を楽しむことができますか
- 時の話題やイベント、流行、ファッションに幅広く出会えますか

- 3位：名産や工芸等特色ある財やサービス、地域ブランドの消費を楽しむことができますか
- 訪問者が任意に必要なとする生活雑貨やサービス消費に應える環境が整っていますか
- 駅前や中心街、商店街では市民生活のにぎわいや気を楽しみますか
- 駐車場、巡回バス等訪問者の支援サービスの用意や配慮がなされていますか
- 訪問者の利便に供する情報発信や体制は解り易く、使いやすく配慮されていますか
- 国や地域を代表する現代的、ダイナミックな刺激的大都市イメージですか
- 地域経済に根差した活力ある中核産業都市イメージですか
- 伝統に根ざした落ち着いた中核生活都市イメージですか
- 総合的にみて貴県の観光イメージは現代都市文化価値を柱としていますか
- 総合的にみて貴県の観光イメージは城下町、領国文化価値を柱としていますか
- 総合的にみて貴県の観光イメージは地域生活文化価値を柱としていますか

調査票4 歴史資源に関する質問

- 貴県の歴史は全国的に影響を及ぼした重要なできごとを主体としていますか
- 貴県の歴史は主として地域に係るできごとを主体としていますか
- 貴県の歴史は観光資源として既に十分活用されているとお考えですか
- 1位：貴県の歴史は観光資源として潜在活用の余地が十分にあるとお考えですか
- 貴県の歴史は古代の遺跡・遺構が適切に維持管理されていますか（関連質問：飛鳥・天平・奈良期の史実現

場や記録・伝承・物語が適切に維持管理されていますか・平安期の史実現場や記録・伝承・物語が適切に維持管理されていますか・鎌倉一戦国期の史実現場や記録・伝承・物語が適切に維持管理されていますか・江戸幕藩体制期の史実現場や記録・伝承・物語が適切に維持管理されていますか・維新後の史実現場や記録・伝承・物語が適切に維持管理されていますか・通史的に、できごと、人物、生活の史実や伝承・物語が適切に表現されていますか

- 前項につき記録や資料の分析や展示が、施設や広報を通して解り易く適切に解説され、貴県歴史の全体把握に役立つよう工夫、表現されていますか
- 総合的にみて広く国民に発信すべき多様な歴史資源に恵まれていますか
- 総合的にみて貴県の歴史は国民に広く知られているとお考えですか
- 2位：貴県の歴史は国民に対し、更に広く知られるよう努力すべきとお考えですか
- 3位：貴県の歴史は国民の学びや一般教養を高め、人生の指針や知る楽しみの面で国民生活に役立つとお考えですか
- 貴県を代表する歴史イメージの形成期は主として古代、飛鳥・天平期ですか（関連質問：平安期ですか・鎌倉一戦国期ですか・江戸幕藩体制期ですか・維新後一現代ですか・全てを総合的に含みますか）
- 5位：貴県の歴史は訪問者に大きな感動や気付き、教養を与える力があるとお考えですか
- 4位：貴県の歴史は訪問者が国や地域をより良く理解するのを手伝う発信力があるとお考えですか
- 総合的にみて貴県の観光イメージは歴史価値を柱としていますか

調査票5 文化資源に関する質問

- 貴県の生活文化には地域の風土や歴史、伝統を踏まえた特徴があるとお考えですか（関連質問1：その生活文化は概ね江戸期幕藩領国体制以前に由来するとお考えですか・江戸期幕藩領国体制に由来するとお考えですか・江戸期幕藩天領体制に由来するとお考えですか・維新後一現代の都道府県体制に由来するとお考えですか）（関連質問2：その生活文化は現代の住民生活に色濃く残っているとお考えですか・衣面で残っているとお考えですか・食面で残っているとお考えですか・住面で残っているとお考えですか・価値観等精神文化面で残っているとお考えですか）（関連質問3：全体的に、生活文化は現代生活に埋没し、特段の特徴を示していないとお考えですか）
- 1位：全国的に知られ、現在に伝承される祭事、行事、しきたり、芸能等がありますか（関連質問：2位：それらは貴県観光振興に特別な貢献をしているとお考えですか）
- 5位：貴県の国宝、文化財、名所旧跡、寺社仏閣は国際的な価値を有するとお考えですか（関連質問：それらは内外に既に十分周知されているとお考えですか・それらの量的集積度や多様性が貴県の文化資源に貢献しているとお考えですか・それらの質的集積度や独自性が貴県の文化資源に貢献しているとお考えですか）
- 貴県の世界文化遺産は前項と連携した日本文化を発信しているとお考えですか
- 前掲全質問に関し見る文化財としての外形的景観の見学開示を重視されますか
- 前掲全質問に関し意味する文化財として地域価値との結びつきを重視されますか
- 文化資源と地域理解につき適切で体系的な説明、解説、展示がなされていますか
- 貴県は温泉資源を重視されますか

（関連質問：温泉の成分分析や効能分析を統一的に実施されていますか・温泉地域の景観に留意する貴県独自の制度を制定されていますか・貴県の湯治文化は住民の生活や保健に役立っているとお考えですか）

- 貴県の湯治文化を保健の観点から国民により広く発信すべきとお考えですか
- 門前町、小城下町、宿場町等文化的アイデンティティを有する市町村がありますか（関連質問：その市町村は内外に周知され貴県観光振興に十分貢献しているとお考えですか）
- 農林水産、山間地域等の一次産業を主たる産業文化とする地域を重視されますか（関連質問：観光農園、地引網、植林等地域生活を資源とする観光振興を具体的にお考えですか）
- 3位：貴県の文化資源は訪問者に対し大きな感動や、気付き、教養を与える力があるとお考えですか
- 4位：貴県の文化資源は世界に対し日本文化を適切に発信する力があるとお考えですか
- 総合的にみて貴県の観光イメージは文化価値を柱としていますか

調査票6 産業資源に関する質問

- 貴県は国を代表する製造産業分野の一つの拠点県とお考えですか
- 4位：貴県は国を代表する一次産業分野の一つの拠点県とお考えですか
- 貴県は世界に名の通った産業が高度に集中する総合付加価値産業県とお考えですか
- 貴県は多種多様な地域的産業が高度に集中する総合付加価値産業県とお考えですか
- 貴県の経済活動はゆとりや豊かさを発信しているとお考えですか
- 貴県の経済活動は安定や堅実さを発信しているとお考えですか
- 貴県の経済活動は先進性や革新性、ダイナミズムを発信しているとお考えですか

- 1位：地域の自然環境や風土を生かした特産品（農林水産物）に恵まれていますか
- 2位：地域の歴史・文化環境を生かした特産品（織物、陶芸、漆芸、木工、その他工芸等）や手仕事の技術の伝承に恵まれていますか
- 5位：一般見学、参観が開示されている近現代的製造産業の工場が存在しますか
- 3位：一般見学、参観が開示されている伝統的製造産業の工場や工房が存在しますか
- 朝市、競りなど見学、参観できる日常の仕事が観光活用されていますか
- 生産経済は消費経済に比し観光活用ににくいとお考えですか
- 貴県の公共事業投資は景観、居心地、にぎわいの創出等の視点を含んでいますか
- 貴県の公共事業投資は観光施策との整合性を配慮されていますか
- 貴県の観光予算は観光関連産業の地域雇用を生み出す方向で執行されていますか

調査票7 施設資源に関する質問

- 1位：貴県には博物館、動植物園、水族館の公的施設のいずれかが存在しますか（関連質問：その施設は貴県観光振興の必須資源とお考えですか・その施設の観光利用者は満足すべき水準とお考えですか・その施設は貴県観光振興に特定の波及効果を及ぼしているとお考えですか・その施設は国際的に高い評価を得ているとお考えですか）
- 2位：貴県には美術館、工芸館の公的施設が存在しますか（関連質問：その施設は貴県観光振興の必須資源とお考えですか・その施設の観光利用者は満足すべき水準とお考えですか・その施設は貴県観光振興に特定の波及効果を及ぼしているとお考えですか・その施設は国際的に高い評価を得ているとお考えですか）

- 4位：貴県にはスポーツや音楽、演劇に広く供されるスタジアム、コンサートホール、劇場の公的施設のいずれかが存在しますか（関連質問：その施設は貴県観光振興の必須資源とお考えですか・その施設の観光利用者は満足すべき水準とお考えですか・その施設は貴県観光振興に広範な波及効果を及ぼしているとお考えですか・その施設は国際的に高い評価を得ているとお考えですか）
- 3位：貴県にはリゾート、ゴルフ場、スキー場のいずれかが存在しますか（関連質問：その施設は貴県観光振興の必須資源とお考えですか・その施設の観光利用者は満足すべき水準とお考えですか・その施設は貴県観光振興に広範な波及効果を及ぼしているとお考えですか・その施設は国際的に高い評価を得ているとお考えですか）
- 貴県には全国的に著名なテーマパークや遊園地が存在しますか（関連質問：その施設は貴県観光振興の必須資源とお考えですか・その施設の利用者は満足すべき水準とお考えですか・その施設は貴県観光振興に広範な波及効果を及ぼしているとお考えですか・その施設は国際的に高い評価を得ているとお考えですか）
- 5位：社会的年齢構成やアウトドア需要が変化する時代に合わせ、ハイキング、トレッキング、サイクリング等の専用道路などの環境・観光・健康が連携する施設コンセプトやインフラ整備が必要とお考えですか

調査票8 人的資源

- 貴県の年齢構成はピラミッド型ですか（関連質問：釣鐘型ですか・つば型ですか・ゆるやかな逆ピラミッド型ですか）
- 貴県の住民は貴県以外のご出身の方々が過半を占めるとお考えですか
- 貴県の住民は一貫して同じ地域に住まわれる方々が過半を占めるとお考えですか

えですか

- 貴県の住民は観光への理解や関心が高いとお考えですか
- 5位：駅、市街、施設、商店街など公共空間での住民マナーは概ね良好とお考えですか（関連質問：2位：安全や秩序は概ね良好とお考えですか）
- 貴県の住民は訪問者に対し一般的に開放的、社会的であるとお考えですか（関連質問：慎重・謙虚であるとお考えですか・3位：人情があるとお考えですか・1位：親切であるとお考えですか・受容の心をお持ちであるとお考えですか・協動的であるとお考えですか）
- 貴県の住民はおもてなしへの関心が高いとお考えですか
- 貴県ではおもてなしとホスピタリティ概念を区別しておられますか
- 泊、食、ショッピング等における貴県の接客サービス水準は標準以上とお考えですか（関連質問：泊、食、ショッピング等における貴県の接客サービス水準は国際的とお考えですか・タクシードライバーの接客サービス水準は標準以上とお考えですか）
- 貴県は接客サービス向上のための公的プログラムをお持ちですか
- 4位：貴県の小中高校では地域の歴史や伝統、文化、産業を学ぶカリキュラムがありますか（関連質問：地域の言葉を学ぶカリキュラムがありますか・公的施設では子供達が地域を学ぶプログラムが広く用意されていますか）
- 貴県はパンフレット等対外的な観光資料の他、住民に対し貴県観光理解のための啓蒙活動を行っておられますか
- 貴県は観光を支援する NGO やボランティアへの公的支援制度がありますか
- 貴県の住民生活は訪問者に対し新しい発見や共感、好感を与える力がある

るとお考えですか

【本稿は所定の査読制度による審査を経たものである。】